

第3次中央市観光振興基本計画（概要）

計画期間 令和5年～令和12年

第2次観光振興基本計画の振り返り（数値目標）
観光入込客数 目標 536,600人 結果 518,000人（推定）
観光ボランティアガイドの組織及び登録人数 目標 3団体50名 結果 1団体24名
新型コロナウイルス感染症の影響により計画後半期に予定していた事業のほとんどが実施できなかった。

環境変化
1. 他市町村の類似施設の成長 類似施設の成長によりこれまで優位性を保っていた部分に差がなくなり、魅力が半減している。
2. 新型コロナウイルス感染症の世界的流行 コロナの流行により旅行者の行動様式に変化が見られることで、観光資源の価値も変化してきている。
3. インフラの充実 中部横断自動車道や令和9年開通予定のリニア中央新幹線及び（仮称）甲府中央スマートICが周辺に整備され、インフラの充実が本市観光の武器となる。

本市が抱える課題
(ア) 地域資源の洗い出しと観光資源化
(イ) 観光資源の高付加価値化
(ウ) アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた新しいトレンドへの対応
(エ) インフラを活用した取り組みの推進

計画目標

「来る人住む人みんなが楽しめるまち中央市」

第3次中央市観光振興基本計画の基本方針

基本方針	実施策
1. 中央市の強みを活かした観光資源の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源の活用と新たな観光資源の開発 ○市民向け観光コースの設定 ○山の神千本桜の保全 ○農産物加工品の開発 ○本市独自のブランド制度を活用した特産品の高付加価値化
2. 魅力ある観光拠点づくりと整備	<ul style="list-style-type: none"> ○既存観光施設の整備 ○リニア開通に向けた環境整備の検討 ○観光客の受け入れ態勢の強化
3. 時代に即した取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○HP、ECサイトの強化 ○マイクロツーリズムの推進 ○たいら山トレッキングコースの活用 ○旅行会社などへの情報提供や営業の強化 ○他地域との相互交流の活性化 ○市内主要観光施設の情報共有の場の創出

数値目標 ※(新)が新設した目標

1	指標	観光入込客数の増加（根拠）山梨県観光入込客統計調査
	目標値	約8%増（令和4年（推定）518,000人→令和12年560,000人）
2 (新)	指標	市内における観光消費総額（根拠）山梨県観光入込客統計調査
	目標値	約8%増（令和3年5,740百万円→令和12年6,200百万円）
3 (新)	指標	宿泊者数の増加（根拠）山梨県観光入込客数統計調査及び本市ヒアリング
	目標値	約30%増（令和3年1,995人→令和12年2,600人）
4 (新)	指標	月別観光入込客数の下限値（根拠）山梨県観光入込客統計調査
	目標値	約8%増令和3年 25,510人 → 令和12年 27,600人